

総務部

組織を円滑に運営するため、国立国会図書館の方針の企画・立案、予算と執行の管理、庁舎の管理、人事の管理といった事務のほか、行政・司法各部門の支部図書館や国会との連絡調整等の業務を担います。

図書館のアクセラとブレーキそしてバランス

松澤 貴弘 総務課法規係長



国立国会図書館にも、資料に触れない裏方の仕事があります。私が所属する総務課法規係は、いわゆる法務部門に当たり、法令や内規に関する各部署からの照会への対応と、国立国会図書館法規の制定改廃を主な業務としております。

法務部門の役割は、わかりやすく言うとアクセラとブレーキです。平時には業務が円滑に進むように後押し（アクセラ）をし、非常時にはリスクに備えた抑制（ブレーキ）をかける。100年、いやもっと先まで資料を保存し、提供し続けるためには、時代の変化に対応しつつ、安定性と一貫性も求められます。現場の要望に沿えず、心苦しいときもありますが、組織全体をよく俯瞰し、実際の現場を想像しながら、アクセラとブレーキのバランスを模索することに醍醐味を感じています。

直近では、オープンアクセスの推進や手続のオンライン化に関連した法規整備に取り組みました。

いずれも国立国会図書館全体の業務と関係する事柄であるため、既存の業務と整合し、受け入れられるようなルールを作成することに苦慮しましたが、その分、法規の施行までこぎ着けた時の達成感はひとしおでした。

学生時代の専攻

法学

Career

H27.4 総務部総務課

H28.10 調査及び立法考査局議会官庁資料課

H30.4 出向（衆議院法制局）

R2.4 総務部総務課（R2.7 法規係長）

出向・人事交流

外部機関での経験により視野を広げ、国立国会図書館での業務に役立てることを目的として、国や地方公共団体等の諸機関と出向・人事交流を行っています。また、実務研修として、公共図書館との研修交流も行っています。

〈 主な出向先・実務研修員派遣先 〉

衆議院事務局 衆議院法制局 参議院法制局 会計検査院
東京都立図書館 京都府立京都学・歴史館 大阪府立図書館

海外留学

国立国会図書館では、調査部門・図書館部門から若干名の職員を海外の大学院に派遣しています。最近の留学先としては、ルクセンブルク大学、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、ニューヨーク大学、キングス・カレッジ・ロンドン等があります。



久古 聡美
（外交防衛課主査）

令和元（2019）年7月からの約1年間、英国のキングス・カレッジ・ロンドンに留学し、戦争学を学びました。留学前は、調査及び立法考査局の外交防衛課で、核問題や自衛隊及び諸外国の軍隊の国外派遣の問題といった防衛・安全保障分野の調査を主に担当していました。業務を行う中で、国際的な視点からも問題を考える必要性を感じ、また、国際関係学の大きなテーマである戦争について研究の第一線にある国で学びたいと考えたことが、留学の動機となりました。

大学院では、世界における戦争の歴史から、非正規戦や対テロ戦争、人工知能（AI）を用いた未来の戦争まで、戦争をめぐる理論や実際について学びました。留学生活は、課題や試験で忙しく、授業でも、必ずしも解が一つではない国際関係の複雑な問題に対し、自分なりの考えを論理的に組み立てて提示することが求められ、試行錯誤した日々でした。同時に、国もバックグラウンドも異なる学生が集まる中で多様な考えに触れ、政策の現場でも活躍されている教授を交えた白熱したディスカッションに参加するなど、刺激的で貴重な経験でした。日本で調査員という立場から触れてきた問題に別の視点からも向き合い、多くの気づきを得て、視野を広げることができました。

帰国後、留学で得た知識や学びは、調査業務に取り組み際の土台としていきていることを実感しています。成長する機会をいただいたことに感謝し、今後とも業務にまい進していく所存です。

図書館及び関係機関との連携

国立国会図書館は、国際図書館連盟（IFLA）等の国際的な活動への参加等を通じて、海外の国立図書館や関係機関との交流や協力活動を行っています。

業務交流の場での通訳や国際会議でのプレゼン等、語学の堪能な職員が活躍する機会があります。

